

$\triangle ABC$ の辺 BC を $2:1$ に内分する点を P とし、線分 AP を $(1-t):t$ ($0 < t < 1$) に内分する点を Q とする。等式

$$4\vec{AQ} + \vec{BQ} + 2\vec{CQ} = \vec{0}$$

が成り立つとき、 t の値は $\boxed{\text{④}}$ である。

(13 関西大 シス・環境・化生命 2月2日 4(3))

④

$\frac{4}{7}$

解答は次のページにあります。

【チェック・チェック】

与えられた条件を分点公式を用いて表してみましょう。使うベクトルの始点は A, B, C のどの点でも構わないのですが、線分 AP が登場するので A を始点にとることにしましょう。

【解答】

P は辺 BC を 2 : 1 に内分する点より

$$\vec{AP} = \frac{\vec{AB} + 2\vec{AC}}{3}$$

であり、Q は線分 AP を $(1-t) : t$ に内分する点より

$$\begin{aligned} \vec{AQ} &= (1-t)\vec{AP} \\ &= (1-t)\frac{\vec{AB} + 2\vec{AC}}{3} \quad \dots\dots \textcircled{1} \end{aligned}$$

である。

一方、Q は等式

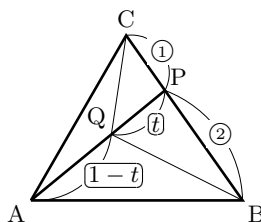
$$4\vec{AQ} + \vec{BQ} + 2\vec{CQ} = \vec{0}$$

を満たすから

$$\begin{aligned} 4\vec{AQ} + (\vec{AQ} - \vec{AB}) + 2(\vec{AQ} - \vec{AC}) &= \vec{0} \\ 7\vec{AQ} - \vec{AB} - 2\vec{AC} &= \vec{0} \\ \vec{AQ} &= \frac{\vec{AB} + 2\vec{AC}}{7} = \frac{3}{7}\frac{\vec{AB} + 2\vec{AC}}{3} \quad \dots\dots \textcircled{2} \end{aligned}$$

①, ②において、 $\frac{\vec{AB} + 2\vec{AC}}{3} \neq \vec{0}$ より

$$1-t = \frac{3}{7} \quad \therefore t = \boxed{\frac{4}{7}} \quad \dots\dots (\text{答})$$



← 分点公式

← 始点を A にそろえる。